

まちづくりナビ

第11回



今回は、都市機能誘導区域と公共交通による連携について解説するよ!

笠間特別観光大使
笠間のいな吉®

今回は「都市機能誘導区域」とそこへ立地を誘導する「誘導施設」、さらに公共交通などによって市内外を連携する方針についてお知らせします。

「都市機能誘導区域」とは、医療・福祉・商業等の都市機能を誘導・集約することにより、生活サービスの効率的な提供を図る拠点エリアです。なお、都市機能誘導区域は、居住誘導区域の中に設定されています。

笠間市における都市機能誘導区域の設定方針

居住誘導区域の中で特に交通利便性が高く、既に主要な公共施設が集積しているなど、今後も市民生活の利便性を維持できる場所に設定します。

笠間市の場合、中心的な三つの駅(友部駅、笠間駅、岩間駅)や主要なバス停、公共施設から、徒歩や自転車によって容易に移動できる範囲を基本とします。

赤坂周辺地区

幹線道路沿いの利便性や良好な都市基盤を生かし、市民の日常生活に役立つ都市機能を誘導します。

【主な誘導施設】・大規模商業施設 など

笠間駅周辺地区

笠間駅や歴史・文化・芸術等の資源を生かし、市民の日常生活に役立つ都市機能を誘導します。

【主な誘導施設】・行政施設・中規模商業施設
・観光施設 など

岩間駅周辺地区

岩間駅や歴史・自然・農業資源、良好な都市基盤を生かし、市民の日常生活に役立つ都市機能を誘導します。

【主な誘導施設】・中規模商業施設・観光施設 など

笠間支所周辺地区

笠間市街地における行政サービスの拠点とします。

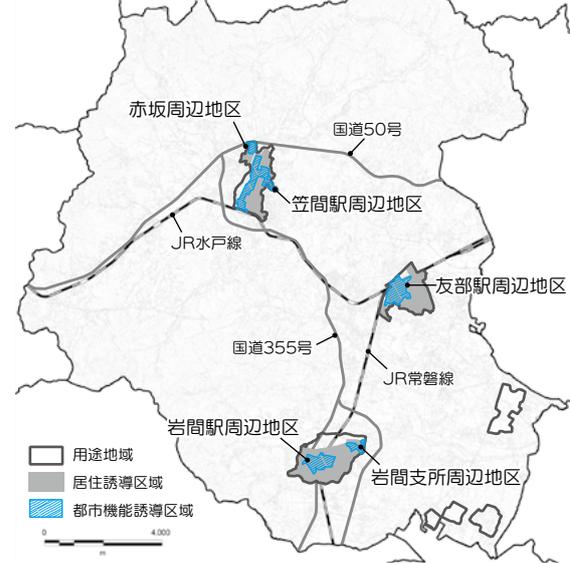
【主な誘導施設】・行政施設 など

友部駅周辺地区

友部駅を生かし、本市の都市的発展を牽引するような高次の都市機能を誘導し、都市の魅力を高めます。

【主な誘導施設】・行政施設
・大規模商業施設
・観光施設 など
・子育て施設
・医療施設

居住誘導区域及び都市機能誘導区域図



「誘導施設」とは、みんなの日常生活が便利であるために必要な、都市の機能を増進する施設のことなんだ。今ある施設も含めて、都市機能誘導区域ごとに設定するよ。

公共交通等による連携方針

笠間市の恵まれた鉄道網を最も中心的な基幹交通とし、鉄道駅と市内各所を多様な公共交通などで円滑に連絡することを連携の基本とします。

連携方針1 恵まれた鉄道網を生かして居住誘導区域などへの連絡を確保します

連携方針2 鉄道駅をハブとした多様な交通手段で市内各所をつなぎます

連携方針3 周辺の拠点都市や東京圏などとの広域連携を図ります

連携方針4 笠間らしい特性を生かした徒歩や自転車の活用を促進します

連携方針5 ICT 技術の活用や他分野との連携などの多面的な展開を模索します



次回は、立地適正化計画における誘導施設と目標値についてお知らせします。

【問い合わせ】都市計画課 (内線 586)